



# ステップアップ 畜産!



西部農業事務所 家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）

## ～記事～

- ★韓国で口蹄疫が発生しています
- ★寄生虫の感染に気を付けましょう
- ★伝達性海綿状脳症（TSE）の検査について
- ★令和8年定期報告書の提出について

## ★韓国で口蹄疫が発生しています

韓国では、今年1月に9か月ぶりに口蹄疫の発生が確認され、その後2月28日までに3例の発生が確認されています。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

いま一度、下記の項目を参考に飼養衛生管理の徹底をお願い致します。

- 関係者以外の立入を制限しましょう。
- 農場専用の靴・衣服を着用し、手指消毒、物品や出入りする車両の消毒を徹底しましょう。
- 畜舎の出入り口に専用の靴や踏込消毒槽等を設置し、靴底の消毒を徹底しましょう。
- 口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控えましょう。
- 毎日健康観察を行い、疑わしい症状があれば直ぐに獣医師や家畜保健衛生所へ通報しましょう。

## ★寄生虫の感染に気を付けましょう！

寄生虫は温暖な時期に活発になり、特に春は幼獣では成長シーズンで免疫力が低下しやすくなるため対策が重要です。以下の点に気を付けましょう。

### 1 駆虫薬の使用

春は寄生虫が活発になる季節ですので、適切なタイミングで駆虫薬を使用することが重要です。獣医師の指導のもとで定期的に駆虫薬を投与しましょう。同じ薬を長く使うと薬の効きが悪くなるので、獣医師に相談する際はそれまでに使用していた薬を伝えてください。

また、駆虫薬を投与すると糞便中に多量の虫卵が放出されるので、駆虫薬投与後は2～3日間は畜舎飼いをを行い、その後、放牧地に出すようにしてください。

## 2 放牧場の管理

線虫等の寄生虫は、排泄された卵が孵化して感染子虫となって草に上り、羊や山羊に食べられるのを待ちます。このため、放牧場の管理も大切となります。

定期的に草刈りや排泄物の除去を行い、清潔な環境を維持しましょう。



## 3 定期的な健康チェック

健康状態を定期的にチェックすることも重要です。特に体重の減少や下痢、食欲不振など寄生虫感染が疑われた場合は、獣医に相談して検査を受けましょう。

## 4 清潔な水の給与

水源も寄生虫の繁殖場となり得ますので、水槽はこまめに清掃し、汚れた水を飲まないように管理することも大切です。

## 5 適切な栄養管理

寄生虫による感染を防ぐためにも、羊や山羊に十分な栄養を与えることが大切です。免疫力を維持するために、バランスの取れた飼料を給与しましょう。

## ★伝達性海綿状脳症（TSE）の検査について

◎18 か月齢以上の個体が死んだ場合はTSE検査が必要です。

18か月（1歳半）以上の羊や山羊が死んだ場合はTSE（伝達性海綿状脳症）の検査を受けることが義務付けられています。該当する場合は家畜保健衛生所までお知らせください。

◎新たに羊や山羊の飼育を始めた方がいましたらお声がけください。

少数でも羊や山羊の飼育を開始された方をご存じでしたら、家畜保健衛生所まで連絡するようお伝えください。

## ★令和8年定期報告書の提出について

期限内の提出にご協力ありがとうございました。まだ提出されていない方は、**至急提出をお願いします。**

また、報告書に基づく飼養衛生管理の実施状況確認（立入調査）対象の飼養者の方には電話連絡をいたしますので、調査のご協力をお願いいたします。

《注意》

- ・年内に畜舎等の増改築や増頭等を行った場合には再度提出をお願いします。
- ・未報告の場合や飼養衛生管理基準が遵守されていないと判断された場合には、勧告や罰則の対象となる場合があります。

★めん羊、山羊の飼育を止められた方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。

西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233  
TEL 027-362-2261 FAX 027-362-2260

